

区長の役割ってなに？ 町と行政連絡員(区長)の関係って？ ～区長の役割と町との関係性をご説明します！～

区長は集落や地域の代表として住民により選出され、そのまとめ役として活躍されています。今回、区長の役割や町との関係性をご説明し、再認識いただくことで、町民の皆さん一人一人が自らの意思で、区長と共に、地域の連帯・連携を深めていくことを期待しています。

町は、福祉サービスや諸事業、その他様々な事項を広く住民にお知らせし、また要望の取りまとめ等を行っています。意見・要望等を集落や地域でまとめていただけることと事業を円滑に進めることができます。

そこで、町は、区長に「行政連絡員」として次のような業務をお願いしています。

- 地域住民への行政情報の伝達（広報や回覧等の配布）
- 軽易な調査又は報告（諸政策に対する意見のとりまとめ等）
- その他町長が必要と認める業務

なお、集落や地域の行政に対する要望等については、自治振興区内で協議のうえ、自治振興

区長の役割ってどんなこと？

集落や地域内の意見の取りまとめ、様々な諸活動における先導役、その他集落や地域の運営等の役割を担っており、なくてはならない存在です。

また、町が推進している自治振興区活動においても、その代表者（会長等）を支える重要な立場にあります。

町が区長に依頼している業務ってどんなこと？

町は、福祉サービスや諸事業、その他様々な事項を広く住民にお知らせし、また要望の取りまとめ等を行っています。意見・要望等を集落や地域でまとめていただけることと事業を円滑に進めることができます。

区長の報酬ってどんなこと？

区の総意として発信していただくことで、さらに事業等の調整を円滑に進めることができます。

平成28年度より、町が区長に対して、区長の地位を与える制度を廃止しました。そして区長個人に報酬を支払うのではなく、自治振興区内の区長で組織された区長部に対し活動交付金としてまとめて支払うことに変更しました。

これは、より地域の実情に応じた使い方ができるように考えたものです。

区長部活動交付金の使途については、自治振興区区長部の自主性に任されています。

なお、他の補助金・交付金等と同じく、飲食代等への使用はできません。

以上、主なことを掲載しましたが、町と区長の間には上下関係はなく、対等な立場でそれぞれ活動しています。

地域の活動が町の元気につながることは、町民皆さんが感じられていることかと思えます。町民みんなで山都町を盛り上げていきましょう！

町が区長に依頼している業務ってどんなこと？

町は、福祉サービスや諸事業、その他様々な事項を広く住民にお知らせし、また要望の取りまとめ等を行っています。意見・要望等を集落や地域でまとめていただけることと事業を円滑に進めることができます。

区長の報酬ってどんなこと？

区の総意として発信していただくことで、さらに事業等の調整を円滑に進めることができます。

平成28年度より、町が区長に対して、区長の地位を与える制度を廃止しました。そして区長個人に報酬を支払うのではなく、自治振興区内の区長で組織された区長部に対し活動交付金としてまとめて支払うことに変更しました。

これは、より地域の実情に応じた使い方ができるように考えたものです。

区長部活動交付金の使途については、自治振興区区長部の自主性に任されています。

なお、他の補助金・交付金等と同じく、飲食代等への使用はできません。

問合せ先 総務課 ☎ 72-1111、山都町区長連絡協議会

やまと文化の森だより ～来館者5万人を達成しました！～

山都町の文化を発信する施設として平成29年4月にオープンしましたが、8月18日に来館者5万人を達成しました！

5万人目のお客様は延岡市から山都町に帰省されていた菅原壽一さん鯉沙さんご家族。5万人達成記念セレモニーを実施し、梅田町長から記念品の贈呈などが行われました。壽一さんは「寄って見たら立派な施設で、ちょうどフリーマーケットも開催されていて、こういったイベントに向いていると思いました。また、大造り物の製作過程が見学できるのも良いですね。」と話されていました。

いつも利用してくださる皆さまへ改めて心から感謝し、次は10万人を目指して、さらに楽しいイベントを企画していきますので、皆さまのご来館をお待ちしています。



3家族総勢15名で来館いただきました！

問合せ先 山都町下市16番地 ☎ 72-9400
開館時間 9:00～17:00 入館無料
休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日又は振替休日の場合はその翌日）、年末年始等



町長室から 梅田 穰

新町・下市・仲町 商店街によるリレー夜市に始まり、清和高原スターフェスタ、清和夏祭り、南阿蘇交通の夏祭り、山都でしか主催の呑みフェス、町内各自治振興区での夏祭りが開催され、多くの町民の方々が参加し、町の賑わいを演出していただきました。企画・立案・実行されるスタッフの皆様の並々ならぬ御苦労に心から感謝いたします。様々なイベントを開催することにより人が集い語り合うことが、地域・町の活性化に必ず繋がると思っています。私も出来る限り参加したいと思います。

火伏地蔵祭が雨の中ではありませんでしたが盛大に開催され、多くの方々が参加されました。森川実行委員長にお聞きしますと「火伏地蔵祭は雨もまた歓迎です。」との言葉に納得しながら、祭りを楽しみました。永年にわたり伝統と技術を守り続けておられる皆様をはじめ実行委員の皆様の心意気に感動した一日でした。

8月29日に「山都経営塾・公開講座」を開催しました。27年度より開催しました「山都町食農観光塾」では57名の塾生を送り出し町内各地で活躍しておられます。今回の公開講座には町内外から多くの参加者があり、(財)松下政経塾顧問の古山和宏先生から「ビジョンから考える山都町のまちづくり」、共同主催者であるアグリコネクト山都(株)代表取締役の熊本伊織氏から「山都経営塾における事業づくりと評価のあり方」と題した講演があり、参加者の中からは町づくりに対する意見が積極的に出されていました。特に若い移住者、農業者の方の提言は早くも「経営塾」の様でありました。今後5回を予定している経営塾の中では、山都町の多様な資産と資源を活用して、より住みやすい町づくりへの取り組みやチャレンジする若手リーダーを生み出す事を目指したいと思えます。また、町職員も参加しますので、多くの町民の方々の意思の共有の場になればとも思っています。多くの方々の参加を期待しています。

九州中央自動車道建設促進大会が開催されました

九州中央自動車道の建設促進大会が、8月2日に東京で開催されました。九州中央自動車道建設促進期成会（会長：梅田山都町長）及び熊本県などが主催する大会で、坂本哲志衆議院議員をはじめとする県選出国會議員及び国土交通省を来賓に迎え、現在工事が進められている矢部までの早期完成、矢部から蘇陽間の早期事業化といった九州中央自動車道の早期全線開通に向けた強い要望の声を国に届けました。



九州中央自動車道建設促進期成会
(構成：熊本県・熊本市及び上益城郡の市町長及び議長)

行方不明者捜索で連携！

8月20日、山都町と山都警察署、山都消防署は、山岳遭難などの行方不明者の捜索や救助活動で、連携を強化する県内初の協定を結びました。

「応援要請書」を新たに導入することにより、行方不明者の名前や住所、服装、携行品などを記して共有できる情報量を増加させ、さらに、応援部隊の集合場所や日時を明記することで、一刻も早い捜索体制を構築することが可能となります。

今後とも、人命救助を最優先とした活動を推進していきます。



左より松岡警察署長、梅田町長、前田消防署長